

## 第4回 宝塚第一小学校教育環境適正化検討委員会

令和5年(2023年)10月19日(木)10:00～

宝塚第一小学校 視聴覚室

### 1 開会

### 2 報告

通学区域の弾力的運用について(経過報告)

### 3 議題

(1) 学校規模適正化の手法について

(2) その他

### 4 閉会

#### <配布資料>

資料1 宝塚第一小学校における通学区域の弾力的運用の経過報告について

資料2 学校規模適正化の手法



## 宝塚第一小学校における通学区域の弾力的運用の経過報告について

## 1 保護者説明会について

## (1) 対象者

1 年生から 5 年生の保護者

## (2) 開催日及び参加状況について

開催日	対象学年	10時から11時	18時から19時
7月18日(火)	1・3年生	4人(31人)	4人(19人)
7月19日(水)	2・4・5年生	5人(30人)	1人(16人)
7月23日(日)	上記日程で参加できなかった世帯	1人(28人)	

※ ( ) 内の数字は ZOOM による参加者数

## 2 就学学校変更の意向調査結果の報告について

## (1) 対象者

令和6年度宝塚第一小学校に入学予定の 1 年生の 182 人(9 月 12 日時点)

## (2) 調査期間

8 月 25 日(金)から9月11日(月)

## (3) 調査結果

(単位:人)

	宝塚第一小	西山小	未広小	逆瀬台小	回答保留者
回答者	93	4	1	0	1

※ 未回答者については、指定校(宝塚第一小学校)への就学とします。

## 学校規模適正化の手法

## 1 検討過程の第一段階

時代の変化に伴って学校規模の考え方も変化しています。また、地域の成り立ちも含めて、それぞれの学校には、地域とともに培ってきた歴史があるため、規模だけで判断することも困難な課題です。したがって、ここでは、皆さんの学校規模の認識を共有し、共通認識を図ります。そのため、宝塚第一小学校を限定せず、一般論として学校規模等について考察してください。

## (1) 学校規模の区分

## ① 適正規模を上回る規模は何で判断しますか？（判断基準）

- (ア) 1 学年当たりの学級数で判断する。
- (イ) 全学年の学級数で判断する。
- (ウ) 保有教室数、運動場・体育館面積等の施設設備で判断する。
- (エ) その他の理由で判断する。

## ② 適正規模を上回る規模の学校で何らかの適正化の手立てが必要となる規模

- (ア) 学校の施設規模に関係なく、学級数や児童数で判断する。
- (イ) 学級数や児童数ではなく、学校の保有教室数などの受入れ規模により判断する。
- (ウ) その他の理由で判断する。

## 【参考：宝塚市にける学校規模の基準】

規 模	小 学 校	中 学 校
過小規模校	5 学級 以下	—
小規模校	6 学級 ～ 11 学級	3 学級 ～ 8 学級
適正規模校	12 学級 ～ 24 学級	9 学級 ～ 18 学級
大規模校	25 学級 ～ 30 学級	19 学級 ～ 24 学級
過大規模校	31 学級 以上	25 学級 以上

## (2) 適正化の手立ての必要性

- ① 必要となる
  - (ア) 校区変更
  - (イ) 学校の新設による校区分離

- (ウ) 校区を変更した上で、当該地域を通学区域の弾力的運用の適用区域とする
- (エ) その他

② 必要ではない

- (ア) 仮設校舎も含めた増改築による対応
- (イ) その他

(3) まとめ

2 検討過程の第二段階

上記1を宝塚第一小学校に置き換えて考察します。

※次回までの期間、保護者や地域の状況も勘案して検討します。